



クマゲラに出会う。有明第二、境界確認作業

3月25日(火)久しぶりに有明第二に入りました。13名が参加し、境界確認作業とあたらしく装備したチルホールの使用テストを行いました。小春日和の暖かい天気にも恵まれ、暖かすぎて雪がゆるみカンジキでも踏み抜けたりする足元の悪さでしたが、2班で時計まわりと反時計まわりとで起点を発したものの合流点一致とはいきませんでした。これもプロではないボランティアのトライしたこと、エラーもご愛嬌と受け止めましょう。沢を渡り、尾根を越え、急斜面の直登など、すごくハードな歩きですが、気持ち良い汗をかき、おいしい空気を吸って、疲れはしますが、楽しいひと時を過ごしました。

クマゲラに出会いました。札幌市内で確認したのは永くパードウォッチングをしている記者にしても初めてのことです。これだけでも大収穫でした。帯路厚別川に架かる橋の上で記念写真を撮りました。水辺の雪の消えたところにフキノトウが早くも出ていました。

初仕事は澄川から

4月4日と5日、澄川に入りました。参加は4日が21人、5日が26人でした。残雪がまだ深く足元が悪い状態でしたが、除伐作業をやりました。新しく装備したチルホールの使用方法の学習をやり、懸かり木外しに実用もしました。白い雪の上に伐倒した成果が目で見えてよく分かるので、励みになります。5日には、これも新しく装備した救急箱の中身を後藤さんから説明を受けました。これだけは宝の持ち腐れになるように、頑張りましょう。

4月定例幹事会報告

4月8日(火)、4月定例幹事会を開きました。出席10名。主に総会の議題を検討・確認しました。他企画行事参加、海外プロジェクト等についても検討し、了承されました。

会員総会の報告

4月10日 9時からと早い時間に開催しましたが、開会は9時半としました。出席36名、湊代表幹事の挨拶にひきつづいて、酒井代表幹事が議長役となり、14年度事業報告および会計報告、15年度事業計画および予算について事務局より説明し、承認されました。

新しく挑戦する海外プロジェクトについても、説明し、共通認識を深めました。助成金が認可されて動かすこととなります。

森林総研の初仕事報告

4月14、15、16日。3日連続の森林総研の初めての作業は、参加20、25、20人、計65人でした。初日、佐々木室長から作業の目的、手順の説明を受け、まず、ha当たり3万本も植えたアカエゾマツの超過密林の枝打ちから入りました。0.5haを約1日半で片付け、2日目の午後から枯損木の除伐に入りました。アカエゾマツの枝は硬く、枯れても脱落しません。ブラシのような枯れ枝は隣の枝とからまって

いて、幹を切断してもそのまま立っています。直径10cm以下の細いものですが、1本1本幹をひきずり押し倒す力仕事を伴います。頭上からは積年の埃が降りかかります。ヤマブドウやコクワのつるにからまれたものも多く、引き倒す労力は半端なものではありませんが、プロ顔負けの仕事振りで、総研のプロ達を驚かせたようでした。3日間とも好天に恵まれ、心地良い汗を流しました。

2003海と森のフェスティバル参加者募集

他企画参加の第一弾です。エリモ岬の緑化事業は、NHKのプロジェクトXでとりあげられたことでご存知の方も多いかとおもいますが、実際に現地をご覧になった方は多くはないとおもいます。この機会に当協会として、困難な状況下で努力した結果を実見することは、ささやかながらも緑の保全にチャレンジしている我々の励みになれば幸いです。面白そうなイベントも盛沢山なので楽しめそうです。

緑の羽根募金運動の打合せ結果報告

4月17日、13時30分よりKKRで開催された“札幌市「緑の募金」街頭募金打合せ会議”に当協会から10名が参加し、街頭募金活動計画を確認してきました。参加者は4ページに示すとおりです。場所は指定されますが、いずれも午前の部に割り当てられていますので、集合時間9時30分市民会館で、街頭に立つ時間は10時から12時30分までの2時間半です。本日の出席者の総意により、ヘルメットはかぶらないことになりました。折角作った幟旗は立ててもよいと許可されました。常識ですが通行人のお邪魔をしないことが一番大切だと強調されました。参加者の方々羽根をつけてあげる側として気勇にチャレンジしましょう。

森林肥培に生ゴミ堆肥利用実験

生ゴミを焼却しないで微生物による分解で堆肥化することは、すでに多くの実績がありますが、その堆肥を農業に利用することは出来ていません。塩分がふくまれていたり、品質が安定していない等の理由で嫌われます。臭気の問題も大きく、これが解決出来ずに普及しませんでした。ところが札幌生まれの技術で臭気の問題を解決し普及の目途がついたコンパクトな生ゴミ処理プラントが出現しました。5月22日までロイヤルホテルの駐車場で展示されています。しかし、問題は生産される堆肥の活用方法です。育林に活用するについてメーカーのアイケン工業(株)より相談をうけましたので、実験をする方向で検討することにします。まずは当別「フクロウの森」の植苗施肥実験の計画をすすめます。

会員の動き

退会者：新妻礼子さん、森村鉄雄さん、吉本光金さん

休会者：高谷喜一さん、西野悌三さん、西野澄子さん

新規入会者

高橋フジ子 〒062-0023 豊平区月寒西3条10丁目2-38-304 853-7691

津金和洋 〒007-0838 東区北38条東21丁目2-5 781-4975

山原登美子 〒062-0054 豊平区月寒東4条8丁目6-8-404 853-2350

「緑の募金」街頭活動参加者

平成 15 年 4 月 17 日(水) **緑の羽根打合せ**

13:30 KKR 札幌 10 名

石川あきら、加治豊実、柴田久子、高野豊、附田力也、松村清松、湊克之、三和勉、三浦裕、門間功

平成 15 年 4 月 29 日(水) **緑の羽根出陣式**

10:55 市民会館前庭 15 名

石川あきら、加治豊実、菊池敏浩、菊池美津子、酒井和彦、芝恵三、柴田久子、高野豊、附田力也、馬場洋子、松村清松、三浦裕、湊克之、村上昭子、門間功、渡部紀美世

平成 15 年 5 月 8 日(木) **緑の羽根街頭募金**

9:30 市民会館前庭 12 名

石川あきら、菊池敏浩、菊池美津子、柴田久子、杉本茂、杉本則、永田啓子、松村清松、三浦裕、三和勉、棟方鋼男、門間功

平成 15 年 5 月 9 日(金) **緑の羽根街頭募金**

9:30 市民会館前庭 15 名

麻生昭治、伊東ケイ、加治久美子、加治豊実、菊池敏浩、菊池美津子、酒井和彦、柴

平成 15 年 5 月 10 日(土) **緑の羽根街頭募金**

9:30 市民会館前庭 13 名

石川あきら、今井真一、檀棒典夫、加治久美子、加治豊実、菊池敏浩、菊池美津子、椎屋康世、柴田久子、附田力也、馬場洋子、三和勉、門間功

平成 15 年 5 月 11 日(日) **緑の羽根街頭募金**

9:30 市民会館前庭 8 名

麻生昭治、酒井和彦、柴田久子、高野豊、附田力也、馬場洋子、湊克之、門間功

平成 15 年 5 月 12 日(月) **緑の羽根街頭募金**

9:30 市民会館前庭 11 名

泉弘、伊東ケイ、加治久美子、加治豊実、佐野礼子、柴田久子、杉本茂、杉本則、永田啓子、三和勉、門間功

平成 15 年 5 月 13 日(火) **緑の羽根街頭募金**

9:30 市民会館前庭 9 名

麻生昭治、加治豊実、酒井和彦、杉本茂、杉本則、松村清松、湊克之、三和勉、門間功、山中司

ご挨拶

代表幹事 湊 克之

おはようございます。今日、2年目の総会を無事迎えられました。

昨年6月「北海道森林ボランティア協会」と大きな名称を掲げ、期待と不安を抱えた発足時を思い起こすとき、かくも充実した総会を迎えられた事、夢の様です。

これも、ひとえに会員の皆さんの理解と協力の賜物と深く感謝します。

皆さんの、ボランティア精神の真髓を実感した1年でした。なによりも嬉しかったのは、小さな事故も無く過ごせた事です。他産業に比べて突出して災害が多い林業で、しかもその林業作業で最も危険とされている「枯損木」の伐倒においてです。皆さんの安全や健康に対する資質の高さは素晴らしいものです。この一つを取り上げても、無数にある他の森林ボランティア関連に誇れることです。関西弁で「ほんまに、ようやったな」です。

皆さん「森林ボラ通信」で、この1年の軌跡を振り返ってみましょう。感想は如何ですか。

まず皆さんの心身が得た収穫です。作業の多くは決して強制されるもので無く、経験者を中心に自然発生的なグループ化作業でしたが、1年経過して皆さんは既に経験者です。

手を掛けた有明と澄川の森林はどうでしょう。蔓切り・除伐・間伐により纏を纏った姿から清潔な作業着を纏った森林に変身し「森」自身も我々を待ち構えています。

この1年、会員数は50名から70名へと、作業現場も2箇所から3箇所へと、また市外や、さらには海外へと発展が期待できます。

このように順調に進行した「主役は会員の皆さん」ですが、その他に多くの支援や協力がありました。拠点となる森林を提供してくれた札幌市もそうですが、実績の無いわれわれに初年度から助成金をつけてくれた国土緑化推進機構、ユニベール財団のお陰を忘れません。さらに、ここで敢えて二人の名前を挙げます。一人は、森林セミナーの開催、会への最初の助成金の提供、活動の情報源となる事務局と事務局長高野さん割愛等の提供者「アラタ発行人であるCWE社長の河村さん」です。この会の名付け親でもあり、産みの親といえます。他の一人は「事務局長の高野さん」です。ボラ通信の発行、作業スケジュールの作成と募集、助成金の獲得等、育ての兄貴です。

この総会は、明日に向かって夢の持てる総会でした。これからも肩肘張らずに気楽に共に続けましょう。